

教育目標「共生の精神をもち、主体的に力強く生きる人間の育成」 校訓：明朗・礼節・進取・自律

## 令和6年が始まって1ヶ月、再び日本人が心を一つにするとき

令和6年は、元日に能登半島地震が発生し、2日には羽田空港での航空機衝突事故が発生するなど、天災・人災に見舞われる年始となりました。この災害で亡くなられた方々への哀悼の意を表すると共に、今なお行方不明の方々、不自由な生活を余儀なくされている方々に、一日も早く安寧の日が訪れることを願ってやみません。

さて、この紙面を借りてあらためて地震について考えてみたいと思います。私たち、生まれたときから日本で暮らしていると、世界には地震が多い国と少ない国がある、ということが今一つ理解できません。でも、日本は世界でも特に地震が多い国です(図1参照。点は震央で、日本列島が完全に塗りつぶされています)。あまり頻繁なので感覚がマヒしているというか、私たちは多少の揺れを感じても、「あ、なんか揺れてるね」程度で済ませ、避難行動をないがしろにすることが多い気がします。でもそれは、実は危険なことかもしれません。

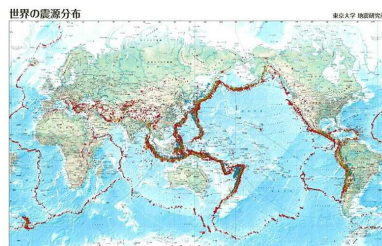


図1 引用：東京大学地震研究所

筆者は理科の授業で地震を扱うとき、「日本人なら、地震がどんな構造で発生し、どんな災害が起こりやすいのか知っておくべき。これは日本人の義務だと思うよ。」と言います。永遠に秋田県内陸部に住むのなら、さほど地震や津波の心配はいらないのですが、例えば学生時代を別の土地で過ごしたり、就職や結婚で海沿いの町に住んだり、親として子どもを一人暮らしさせたりすることもあるわけです。



図2 引用：政府 地震調査研究推進本部

ご存知のように、地震はプレートの移動による圧力で発生します。理科や社会科で「環太平洋火山帯」を学ぶと、日本はユーラシアプレートと北米プレートとの接続部分に乗っかっており、日本の東側にある海溝に向かって太平洋プレートとフィリピン海プレートが動いてきて常に沈降していること、プレート同士の軋轢(あつれき)が高まるとプレート境界型地震が発生することを理解できます(図2参照)。また、日本列島の至る所には常にプレート同士の圧力が加わり、地震を伴う断層(活断層)が無数に形成されていますが、この活断層は何度も「ズレる」可能性が高いのです。能登半島地震はこの活断層による、という学者も複数います。4枚のプレートがせめぎ合っている日本列島の特異性を知り、地震は避けられないという事実を受け入れつつ、非常時の行動をシミュレートしておいたり、いざというときのために災害用備蓄品を準備したり、家族の連絡方法を決めたりしておきたいところです。

また、地震学習を終えた中学生としては、初期微動継続時間の長さから震源距離を計算し(初期微動継続時間に8を掛けた数値がおよその震源距離で、例えば10秒続けば震源まで約80km。大森公式と言います)、それと揺れの程度から地震の規模(マグニチュード)を推測できるようになりたいものです\*1。こういう知識があることで、いざというときに冷静で頼れる存在になることができます。そして何よりも日本人として、地震などの災害報道を見て他人事と思わず、悲しみ苦しんでいる人々への身内意識・共感意識をもっていたいと思います。記憶を風化させないことも大切なことの一つです。

\*1 震源が近いのに揺れが小さいのなら、地震の規模は小さい、など

## 未来大館サミット2024 報告会より

1月10日～12日まで、大館市が主催する教育旅行が行われ、市内の8中学校から代表生徒が参加しました。この事業は、ANA機体整備工場や三菱重工業、GMOインターネットグループなど、日本の最先端技術を有する企業で専門の知識・技術に触れることで、未来の大館について考え、提言することを目的として行われています。

1月22日には市役所にて報告会が行われました。本校から参加した2年生の前田晃生さんは、三菱重工名古屋航空宇宙システム製作所飛島工場等で地元大館出身者と交流して感じたこと、日本のドメイン名登録事業最大手であるGMOインターネットグループを訪問して感じたことなどについて、丁寧に発表してくれました。

筆者もこの報告会を参観しましたが、各中学校の代表生徒が集い、自身の提言を述べ合う様子に感嘆しました。大館市は、未来の大館を存続・発展させる切り札となるのは小中学生だと考え、様々な機会をつくって小中学生に体験や発表などの活躍の場を与えておりますが、この報告会はまさにその成果を実感させられるものでした。



市長さんや教育長さんの前で堂々と発表しました。

## 令和6年能登半島地震の募金活動について（お願い）

既に1月23日付けでお願いの文書を配付させていただきましたが、このことについて、秋田県PTA連合会から募金活動を行う旨の依頼がありました。本校PTAといたしましても、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げるとともに、被災地支援のための募金活動に協力したいと考えております。お心遣いいただける方は、次のように学級担任まで供出してくださるようお願いいたします。

- 1 募金期間 令和6年1月24日～2月21日
- 2 募金方法 古封筒などにお金を入れて持参し、朝の内に学級担任まで提出してください。

なお、昨年末にお願いした秋田県PTA連合会の書き損じハガキ抛出運動ですが、1月末までに50枚のハガキを抛出して頂きました。どうもありがとうございました。

## ココロの授業から

NPO法人ファミリーネットワークの村岡昇氏を講師に招いて、2年生を対象にした道徳「ココロの授業」を行っています。26日に1回目の授業「ココロのメガネ」を実施していただきました。

2年生の伊藤杏さんから、授業の感想を聞いてみました。

「自分を大切に」

2-2 伊藤 杏

私はココロの授業を受けて、自分自身を信じて大切にすることが大事だと学びました。どんな人でも悩みはあると思います。だけど、今の自分としっかり向き合ってこれからどうすればよいか考えることで、人は変われると分かりました。

また、「三つの目」がとても印象に残りました。自分から見た目、周りから見た目、それと自分で作り出す目があると知り、自分の視野が広がった気がします。これからは、自分の短所と長所を理解して自分を高めていきたいです。



村岡さんと、興味津々で画面を見つめる2組の皆さん

制服姿で講演してくださった渡部さん



## 先輩から学ぶ⑪ 航空自衛隊員から

29日には、KJ中10期生の渡部空（そら）さんを招いて上記キャリア学習が行われました。渡部さんは、航空自衛隊三沢基地勤務で、中学校時代は英語部に所属していたそうです。1年生の宮本周聖さんから、講座の感想を聞いてみました。

「先輩から学んだこと」

1-1 宮本 周聖

僕が先輩から学んだことの一つ目は、学生時代にしっかり勉強しておくことです。これまでたくさんの方が、早い内から勉強をした方がよいとおっしゃっていて、今回の航空自衛隊員の方もそうでした。勉強はとても大切なことだし、勉強ができれば将来にも役立つので、今のうちから身に付けていきたいです。二つ目は、「警戒管制」についてです。日本には、日常的に中国やロシアなどの艦船や飛行機が近づいていることが分かりました。毎日の対応は大変そうだけれど、常に日本を守ってくれているので、とてもありがたいです。今日学んだことをこれからの生活に生かしていきたいです。

## お知らせとお願い

### ・今年度の卒業証書授与式について

1月19日付けで案内文書を配付させていただきましたが、今年度の卒業証書授与式を3月1日（金）に挙行いたします。例年どおり中高合同での実施となります。また、今年度は参観者の人数制限は設けませんが、駐車場が手狭でもありますので、自家用車での来校はできるだけご遠慮いただければ幸いです。

### ・学年末PTA出席のお願い

こちらは1月26日に案内を配付させていただきましたが、1、2年生の保護者様を対象とした標記PTAを、3月11日（月）に開催いたします。出欠については2月22日（木）までにお知らせくださるようお願いいたします。

### ・令和6年度入学予定者数について

来年度の入学予定者数が確定いたしました。新聞等の報道でご存知のこととは思いますが、入学選抜により53名の児童が合格し、来年度入学することになりました。新入生は現在の3年生より3名多いので、来年度の全校生徒数は138名になる予定です。

## 2月の主な行事等

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1 (木) 電車・バス利用者連絡会      | 16 (金) 放課後学習会 1      |
| 2 (金) 生徒会任命式           | 高3生による合格体験発表会        |
| 7 (水) 部活動休止日           | 19 (月) 放課後学習会 2      |
| 9 (金) 秋田県立中学校探究活動合同発表会 | 20 (火) 放課後学習会 3      |
| 14 (水) 部活動休止期間（～22日）   | 22 (木) 学年末考査         |
| 15 (木) 4時間授業（給食あり）     | 29 (木) 卒業式予行、部活動休止日  |
|                        | ※3/1 (金) 中高合同卒業証書授与式 |

この通信は  
学校HPにも  
掲載しています

